

王寺町

王寺町が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

近年、ライフスタイルの変化や地域コミュニティの希薄化により、地域全体で親子を見守る子育て機能の低下が見られます。このため、本町では、安心して子育てができるよう、また、子育てを通じた親自身の成長のため、ボランティアをはじめとしたさまざまな人々の協力のもと、地域に見守られながら子育てができる環境づくりを実現します。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
+0.9% (▲6.2%)	5位	+2.8% (▲2.1%)	3位	▲1.9% (▲4.1%)	7位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
			H27年	順位	
1.26 (1.29)	19位	+0.06 (+0.06)	102.1 (74.4)	1位	
④出生数（人）		⑤年少人口割合（15歳未満）			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
247 (8,947)	14.3% (12.0%)	4位	+1.3ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
24.7% (20.7%)	1位	▲1.7ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所が「ない」と答えた保護者が少数ではあるが存在するため、相談支援の充実が必要。
- ② 町内や近隣市町には夜間小児救急の受入れ可能な診療所が無いため、子どもの救急医療体制の確保が必要。
- ③ 子どもに対する虐待対応件数は増加しているため、地域の関係機関と連携を深め、地域全体で取り組むことが必要。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 地域全体で子育てを支える環境が整った、誰もが安心して出産・子育てをできるまちを目指す。
- ② 施策は「子育て支援体制の充実」「児童虐待防止」「子育て施策に関する情報発信」を3本柱に推進。
- ③ 重点分野は、子育て世帯の孤立防止に向けた対策。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊娠期から出産、子育て期にわたって切れ目のない支援を行うすくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）を開設。
- ② 出産前後も安心して子育てができるよう産前産後ヘルパー事業や産後ショートステイ・デイケア事業を実施。
- ③ 西和地域5町が共同で中核病院である西和医療センター敷地内に病児保育施設を設置。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 地域で子育て世帯を支え合うファミリー・サポート・センター事業を実施予定
- ② 情報交換や仲間作りができ、保健師・保育士等による子育て相談も受けることができる子育て広場（3ヶ所）を開設。
- ③ 町内の企業などと協力し、子どもや高齢者の日常生活での異変の早期発見につなげる王寺町見守りねっと事業を実施。

詳しくは 王寺町ホームページ <http://www.town.oji.nara.jp/>